2023年度

クラブチーム立ち上げにかかわるQ&A

（一財）北海道バスケットボール協会

|  |
| --- |
| Q1　今年度クラブチームを立ち上げても、中体連主催の大会には参加できないのか？A1　令和5年度の全国中学校バスケットボール大会には、地域移行クラブのみが参加できます。その条件を満たさないクラブチームの参加は、令和５年度大会はできません。詳細を確認したい方は日本中学校体育連盟および都道府県中学校体育連盟にお問い合わせください。 |
| Q２　クラブチームが参加できる大会は、どのような大会があるのか？A２　TeamJBAでは、【ユース】【クラブ】【中学校】という３つのカテゴリーにわかれています。カテゴリーごとに参加できる大会が違います。すべてのカテゴリーが参加できる大会は、ジュニアウィンターカップ兼全国U15バスケットボール選手権の予選のみです。北海道協会主催大会では、『北海道U14クラブ・ユースバスケットボール新人大会（仮）』を新規で開催予定です。その他、所属地区協会主催の大会については、各地区に問い合わせください。 |
| Q３　『年間計画書』『チーム運営方針』『チーム規約』の提出は、毎年提出するのか？A３　毎年提出をお願いします。チーム責任者など変更が毎年あるでしょうし、チームごとの総会を経て決定されることになっていますので、提出が必要です。また、TeamJBAでの申請承認について、これらの書類を提出、各地区協会や北海道協会で審査をし、承認通知を受け取ってからとなります。 |
| Q4　『年間活動計画書』の中に【所属選手数】とあるが、0人で提出した場合は申請承認されるのか？A4　原則、登録選手がいなければチームは成立しませんので、大会に出場するということを前提に考えると、TeamJBAの登録選手が在籍することになります。また、クラブチームには継続した活動を求めます。しかし、中学校チームとの両立の中で活動しているクラブチームが現状あるのも事実です。0人で提出されたチームは、実際に活動しているかどうか報告の必要があります。詳細は各地区協会クラブチーム担当に問い合わせください。 |
| Q５　メンタルコーチの設置について、どのような意図で設置を推奨されるものか？A5　U15カテゴリーという成長過程では、さまざまな影響を受ける期間です。中学校チームでは、チームだけではなく、所属学級など学校管理下での活動となり、多くの教員を始め、スクールカウンセラー・学校医等の学校関係職員など多くの方が紐づいて活動しています。クラブチームでは、協会の管理下で活動することになり、選手の心身の健康を多面的に見ていけるよう、メンタルコーチの設置を推奨しています。スタッフの人数についても同様で、多くの大人の眼で選手の成長を見守っていけるような環境づくりを推奨しているという意図であることをご理解ください。 |
| Q6　「中学校」チームと「クラブ」チームで、人数が少ないため合同チームを組むことはできるものか？A6　カテゴリーが違うと、出場できる大会が異なるため、原則できません。特別な事情等がある場合は、問い合わせください。 |

２０２３年３月版